

FDA 便り

働くを楽しむもう

4 月 1 日
(第 2 号)

二〇一九年、FDA 活動報告会

FDA 理事長 成澤 俊輔

先日、無事に活動報告会を開催することができました。当日はご家族や実習先の企業の皆さんなど、五十名以上の方々にお集まりいただき、盛会となりました。

各事業所のトレーニング生にスピーチをして頂いたり、実習先の担当者や来賓のみなさんにもコメントを頂きました。FDA では見ることができない利用者さんの一面のご紹介や、障がい者雇用の企業における役割や意味を教えてください、多くの気づきがありました。

今回就職をするトレーニング生のお母さんからもご挨拶がありました。その姿を見て、働くということがこんなにも家族を前進させることができるのだと思いました。

会の最後に私から二〇二〇年三月末をもって、FDA を卒業させてい

↓ 和田事務局長より昨年度の活動報告



↑ 協力企業様等へ感謝状の贈呈

就職実現後も、永く働き続けるためのフォローをします！



★FDA イベント★

「FDA 説明会」

●日程が決まり次第、HP に掲載いたします。

「精神疾患当事者会」

●6 月 16 日 (日曜日)

14:00~

《卒業生からのメッセージ》

ただ経緯や思いについて話をさせてもらいました。これからもみなさんに応援していただきながら、働くことを通じて様々な人の人生を前進させるお手伝いができればと思っています。

こんにちは。FDA 卒業生です。今年の 4 月から社会人として再スタートを切ることが出来ました。私の障害・及び特性は、トゥレット症候群・睡眠障害です。

睡眠障害は有名ですが、トゥレット症候群って？と思われる方がほとんどだと思います。この障害は脳の機能障害の一つで生まれつきの障害です。自分の意思とは無関係に、身体や声が勝手に動いてしまい、人より肉体的・精神的疲労やストレスが溜まりやすく、見た目では判別できないため、誤解の対象になりやすい障害の一つです。私は上半身が勝手に動いてしまう事が多いです。現在は睡眠障害と同じく、服薬治療・投薬治療の両方でほとんど抑えられています。

FDA に入るまでは様々な就労移行施設・作業所に通い続けていましたが、私の障害を理解してもらう努力が当時は足りなかった面もあり、再就職まで 6 年近くの歳月がかかりました。

誰も自分を理解してくれない・助けしてくれない・一人の人間として認められない、そう思っていました。二〇一七年の夏にケースワーカーの方に FDA を紹介してもらい、当時どこにも居場所がなかった私は、自分を変える最後のチャンスだと思い、FDA に入所しました。

紆余曲折がありました。①再就職を果たす、②一社会人として働く、私はこの 2 つの思いを決して諦めはしませんでした。この思いを諦めない限り、道は開けてくると思います。世の中自分心を閉じない限り、諦めない限り、2 人 3 脚で一緒になって支援やサポートを考えてくれる人達がいます。勇気が居るかもしれませんが、SOS (助けてください) の信号を、周りに出してみてください。

利用者一人ひとりの悩みに寄り添い、親身にサポートいたします！



利用者さんの実習体験記

(川崎事業所 B 型 訓練生

坂本 亮平さん)

私は、FDA 利用者の 35 歳男性です。私の障害は、『脳出血に伴う右上下肢体幹機能障害』で、右半身麻痺があります。身体障害 1 級です。

FDA に入った理由は、重度障害で今後の人生を考えた結果、訓練内容が健常者に近い条件で働ける様な PC 業務が主体だったからです。

ここからが本題です。FDA では『企業実習』という場があります。以前の私は、自分が一般企業のオフィスで働くなんて夢にも思っていまませんでした。

今私は、五反田にあるソフトウェア開発会社の『アクロスロード株式会社』様に、毎週火曜日の 9 時から 12 時まで実習をしております。業務内容は、清掃と名刺入力です。社員の方々は、とても親切でアットホームな雰囲気です。

清掃業務をする事は大変ですが、私はこの会社の皆様に快適に業務をして頂くため、これからも実習に励んでいこうと思っております。



↑ PC 入力に取り組む坂本さん(左)

「夢は、障害者枠での一般就労をし、一人暮らしをすること。」とのこと。

「今月のインタビュー」

(ボランティア・下村明子さん)

・これまでのご経歴を教えてくださいませんか？
金融系のシステムエンジニアを二十年以上勤めました。その後少しか、介護の仕事をした事もあります。今は、専業主婦です。

・FDA で活動しようと思ったきっかけは？
家庭の事情で仕事を辞めてから、家に引きこもりがちになり、社会との繋がりが無くなってしまったと感じていた時に、インターネットでボランティア募集の掲示板を見て、「私でもお役に立てるのでは。」と思い、応募しました。

・FDA にてお手伝い頂いている内容は？
毎週木曜日に溝の口事業所で、主に「実習の振り返り面談」をしています。

利用者さんの休日：趣味の部屋

タイトル：

旅行者で賑わう京都の清水寺へ向かう坂からの街並みと風景

選んだ理由：

清水寺へ向かう坂道と街並みに、そこから見た(目線で)京都の情景をダイナミックのように融合したかの様に感じたため、シャッターを切ったこと。



体調を崩していないか、実習先で問題を抱えていないかなど、お話ししながら、汲み取るようにしています。
それと、利用者の皆さんの PC 作業のフォローを出来る限りさせて頂いています。
隔週金曜日には、川崎移行事業所に行っています。特に何かをしている訳ではありませんが、ご指示を頂いた時に、案件のお手伝いをしたり、利用者さんの PC 作業のフォローをしたりしています。利用者さんとコミュニケーションを取って楽しんでいる感じです。
趣味はなんですか？
多々あるのですが、1 番目は、デイズーランド、デイズーニーに行くことです。年に 1

是非 FDA を応援して下さい！

我々は様々な事情を抱えた就労困難者の自立を支援し、社会参加のお手伝いをしております。我々の活動(利用者の就労の実現・生活の質の向上)を、ぜひ応援して下さい。

(個人・団体)

賛助会員…年会費 5 千円

正会員…年会費 1 万円

メール：info@fda.jp

電話：044-245-5112



回は、お泊りデイズーニーに行きます。
2 番目は、資格の勉強をすることです。システムエンジニア時代から、ずっと資格試験の勉強をやらされてきたのが習慣になっていて、いまだに、何かしら勉強しています。
3 番目は家の猫の世話です。おばあちゃん猫なので、結構手間がかかります。